

1 学期終了し、夏休み突入。そして、2 学期への良いステップに！！

今年の夏は少し涼しいかもしれないと数週間前まで思っていました。しかし、そんな訳もなく、梅雨明けから例年と何も変わらない暑い、暑い夏がやってまいりました…。ただただずんでいるだけで、汗が噴き出てくるような苦しい気候が続きますが、そんなものには負けてはいられません。体調管理にも気を配りながら、2 学期の良いステップとなるような夏休みにしてほしいです。

そのために、進路からやっておくべきことをいくつか挙げておきます。長期休暇の過ごし方が、今後の進路決定の分岐点になる場合も大いにあります。中学校 1・2 年生の夏休みとは違うことを自覚して過ごしてくださいね。

1. 学校説明会・オープンキャンパスに参加しよう+参加計画をたてよう！

「百聞は一見に如かず」という言葉があるように、百回聞いて情報を得るより、1 回、自分自身が見て感じた情報の方が、より必要で正確な情報を得られます。この夏休みは、進路選択に向けて時間を割くことができる大切な期間です。高校側もそこに合わせて、夏休み以降、たくさんの学校説明会やオープンキャンパスを計画されています。迷っている・興味がある、この高校を目指すことを決めたなど、現在地は人それぞれですが、最終的に受験校を決定した時に、「その高校に 1 回も足を運んだことが無い！」ということにだけはならないようにしてください。併願校や公立における第 2 順位以降の志願を考えている人は、その学校にも足を運ぶことをおすすめします。受験に絶対はありません。色々な事が起こった時に冷静に対応できるよう、何事も準備、準備です。

今後、学校説明会等が増えてくる関係もあって、足を運びたい高校の説明会の日程がかぶる可能性も出てきます。夏休みを使って HP 等を調べ、参加計画もたててみてください。夏休み明けの学活にて、「どの高校に足を運んだのか。」、「今後、どの高校の説明会に参加しようと思うのか。」を記入してもらう予定です。さすがに、夏休み明けになって、何も書けないなんてことにならないようにしておいてくださいね。

2. 1・2 年生、そして 3 年生の苦手分野の克服をしよう！

受験生にとって、この夏休みは分岐点ともなり得る、大切な期間です。この期間を有効に活用できるかが、今後の明暗を分ける可能性があります。

この夏休みに必ず行っておいてほしいことは、「自己分析」です。様々な教科がある中で、得意分野と苦手分野を洗い出し、出てきた苦手分野の克服を行ってください。ゆっくり時間を使えるのはこの夏休みが最後です。3 年生の冬休みは、入試の手続きや目指す高校の過去問やその傾向に応じた対策を行っていく必要があります。そこに集中して取り組むためにも、積み残しがないように、それぞれの取り組むべきことにしっかりと励みましょう。受験勉強は何年も続くものではありません。笑って、安心して卒業できるよう、「今まで過ごしてきた中で 1 番勉強に励んだ夏になった！」と胸を張って言えるくらいにしてほしいな。先生は、夏休み明けのみなさんの成長を楽しみにしながら、夏の暑さを乗り越えようと思います。みんなファイト～！！

3. 生活リズムは崩さないようにしよう！

長期休暇で気をつけないといけないのは、不規則な生活です。普段、学校に行っていた時間や部活動をしていた時間などが無くなり、どうしても時間の余裕ができてしまうことで、いつもより夜更かしをしまったり、昼頃に起きてみたり、昼夜逆転の生活を送ってみたりと生活リズムを崩すことは簡単にできてしまいます。しかし、崩すことは簡単でも、それを立て直すにはたくさんの時間が必要となります。崩れた生活リズムは本当に簡単には戻りません。

2 学期は、中学校生活最後の学校行事であったり、受験(検)校の決定であったり、身体的にも、精神的にもタフでいなければならないことがたくさんあります。「頑張りたいのに、身体がついてこない…。」なんてことにならないように、いつもの時間に寝て、いつもの時間に起きるという当たり前の生活を続けることを心がけましょう。